

# 積み重ね つみ重ねても またつみかさね

令和4年5月25日 No. 10 文責：佐野紳二

## 個人の好きなことを生かして 第1回クラブ活動

20日（金）の6校時に、今年第1回目のクラブ活動を行いました。今年も子どもたちの希望をもとに、バドミントン・室内球技・卓球・外球技・科学工作・イラスト・将棋の7つのクラブが開設されています。昨年はクラブが計画されていた日が、ちょうどコロナの感染拡大時期と重なることが多く、結局1回しか実施できませんでしたが、今年はこの時期に1回目を実施することができました。

1回目の活動なので、短時間ですが自己紹介と組織づくりを行ってから活動に入りました。中学校の部活動とは趣旨が大きく異なり、小学校のクラブ活動は、自分の好きなこと、やってみたいことをリラックスしてできる機会となっています。この日も、それぞれの活動場所で子どもたちの素敵な笑顔がたくさん見られました。



## 鎌倉と南アルプス市との関わりについて教えていただきました

23日（月）、お馴染みの市文化財課・保阪さんに来ていただき、修学旅行の見学先である鎌倉と、南アルプス市との関わりについて教えていただきました。（6年生にとっては4年生の時以来、久しぶりの保阪さんの出前授業です）6月8日に修学旅行で子どもたちが訪れる長谷寺などの寺社の話から始まり、仏像の見方（如来・菩薩・明王・天の違い）、鎌倉幕府を開いた源氏と南アルプス市の甲斐源氏（加賀美氏・小笠原氏・秋山氏）との関わりについてと、どんどん展開していく保阪さんの熱い語りにより子どもたちも引き込まれていくようでした。

来週には、甲斐源氏ゆかりの史跡を実際に見学することにもなっています。今回の事前学習と合わせて、修学旅行の鎌倉自主見学がより実り多いものになるよう、5月31日の市内巡りでもしっかりと学んで、たくさんの予備知識をもって鎌倉の街を歩いてほしいと思います。



## 風薫る五月 季節の移り変わりを感みましょう

今週に入り、今の季節らしい爽やかな気候が続いています。「今年は梅雨入りが早くなりそうだ」とも言われており、曇りや雨の日も多いのですが、湿度も低く、涼しい風が吹いて、花粉も飛び終わった今の時期は、1年のうちでも最も過ごしやすい時期かもしれません。昨年、二十四節季の話を書かせていただいたことがあります。今ごろの時期を、二十四節季では「小満」と言います。小満とは「万物が次第に成長し天地に満ち始める頃。秋にまいた麦に穂がつく頃にあたり、その出来具合に『少し満足する』、ひと安心する」といった意味なのだそうです。

私が好きでよく見るテレビ番組のひとつに、TBSの「プレ〇ト」という番組があります。人気コーナーの俳句査定では、俳人の夏井いつき先生が、芸能人のみなさんが作った俳句を「才能あり・凡人・才能なし」と採点し、添削をしています。その中で夏井先生がよく、「季語を大切にする」なんて言っているのです。この時期の季語にはどんなものがあるか、歳時記を使ってちょっと調べてみました。すると、代表的なものには、以下のようなものがありました。



- 【時候】 卯月 五月 小満 初夏 清和 夏浅し 夏の朝 夏めく 薄暑 麦の秋 立夏 若夏
- 【天文】 卯月曇 卯の花腐し 筍流し 茅花流し 迎へ梅雨 麦の秋風
- 【地理】 青葉潮 卯波 代田
- 【生活】 柏餅 更衣 代掻く 新茶 筍飯 茄子植う 菜種刈 身欠練 麦打 麦藁 武者人形
- 【行事】 愛鳥週間 御柱祭 子供の日 母の日 夏場所 青葉の簾
- 【動物】 蜘蛛の囿 早苗蜻蛉 鹿の袋角 巢立鳥 鷹の埒入 初鯉 松蟬
- 【植物】 あやめ 苺 瓜の花 カーネーション 烏麦 桐の花 筍 新緑 薔薇 バナナ

わずか十七音で自分が伝えたいことを表す俳句は、言葉の持つ意味や背景を理解していないと、作者が伝えたいことを理解することができず、とても難しいものです。でも、わずかな季節の移り変わりをさまざまな季語で切り取り、助詞や助動詞の選び方で自分の心情を十七音の中に反映させる日本人の繊細さは、少し勉強をして言葉の使い方などが分かってくると、その凄さの一端が伝わってくるような気がします。

少しでも時間を見つけて、俳句や言葉について勉強してみたいなあ…テレビを見ながらいつも思っている私です。(でも、一向に実行に移せないのも私です) 最後は、初夏の有名な俳句で。

葉桜の 中の無数の 空さわぐ 篠原梵

意味：葉の重なりに空が切り取られ無数の空が出来ている。葉が風にそよぎ、まるで空が騒いでいるようだ。

子の髪の毛の 風に流るる 五月来ぬ 大野林火

意味：子どもの髪が風になびいているのを見て、五月が来たんだなあという発見をした。

不二ひとつ うづみ残して 若葉かな 与謝蕪村

意味：富士山だけを埋め残して、あとはすべて若葉で覆いつくされている。

白牡丹 といふといへども 紅ほのか 高浜虚子

意味：白い牡丹にほのかに紅が差している。(ことを驚いている。)

うごかざる 一点がわれ 青嵐 石田郷子

意味：草原に吹く青嵐の中で動かないのは私だけ。

